



国会に向けて新たな決意を込めて、新型コロナウイルス克服に臨む衆議院議員総会。18日、衆議院第2議員会館

# コロナ克服へ 総力挙げる

通常国会開幕 公明が両院議員総会

## 結束し存在感発揮

## ワクチン接種、困窮者支援を

第204通常国会が18日、召集された。会期は6月16日までの150日間。公明党は18日午前、衆議院第2議員会館で衆参両院議員総会を開き、山口那津男代表、石井啓二幹事長は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う緊急事態宣言が11都府県に再発令される中で迎えた今国会の取り組みについて、「最も大事な取り組みは新型コロナウイルス対策だ。これからの対策をどう実行し、浸透させていくのか、成果が出るように取り組む」と強調。「厳しい論戦が予想されるが、結束して公明党の存在感を発揮していきたい」と力説した。西田実仁参院会長、竹内譲政務調査会長、高木陽介国会対策委員長がいささつした。 Ⅱ2面に党幹部がいさつ要旨

## 山口代表、石井幹事長が強調

山口代表は、今後の新型コロナウイルス対策について、感染拡大防止策や生活支援などの実行に必要な今年度第3次補正予算案の早期成立と来年度予算案の年度内成立に万全を期すと訴えた。その上で、政府が通常国会に提出する予定の新型コロナウイルスの特別措置法改正案に

## 東日本大震災10年

## 「人間の復興」必ず

たい」と力説した。在宅起訴された吉川貴盛元農林水産相の取崩事件など「政治とカネ」を巡る問題が相次いでいることには、「政治不信に対しては、自民党は標を正してもらいたい。公明党としても、自民党と共に力を合わせ、国民の信頼を取り戻していく」と強調。国会論戦などを通じて、政治とカネの問題などに対する公明党への期待に応えていくと語った。次期衆院選や、今年に相次ぐ統一外地方選挙に向けては、「政党の活動では、政策実現とともに、議員を確保して、国民の声を受け止め、政治プロセスに反映する役割が重要だ。選挙に勝ち抜くことも公明党が国民の期待に沿う重要な役割

だ。国会論戦をの追い風とした」と述べた。石井幹事長は、新型コロナウイルスのワクチン接種について、公明党のネットワークを活用し、接種主体の自治体の準備状況をしっかり確認していくと力説。また、緊急事態宣言の再発令に伴い、「ひとり親や非正規労働者への影響が懸念される。きめ細かな支援が講じられるよう党内で検討していきたい」との考えを示した。

ポストコロナへの政策課題では、「デジタル改革の推進を挙げ、「公明党が訴えてきた豊かな生活と、誰一人取り残さないデジタル社会に沿うよう推進していく」と強調。2050年(温カーボンニュートラル)温室効果ガス排出量ゼロに向けては、革新的な技術開発を後押ししていくと語った。また、今年で東日本大震災の発生から10年を迎えることに触れ、「被災者に寄り添いながら『人間の復興』をめざし、引き続き全力を尽くす」と訴えた。高木国会対策委員長は、国会の政府提出法案が63本、契約が11本を予定していると報告した上で、「一致結束して国会運営に臨んでいきたい」と語った。